

受 験 番 号

**国**

**語**

(100点 60分)

(2025年度B - 1)

**注 意 事 項**

- 1 試験開始の指示があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 この問題冊子の表紙の受験番号欄に受験番号を書いてください。  
複数の受験番号がある場合、受験票に記載されているメイン受験番号を記入してください。
- 3 この問題冊子は表紙を除き、16ページです。
- 4 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を高く挙げて監督者に知らせてください。
- 5 解答用紙には解答欄以外に次の記入欄があるので、監督者の指示に従って、正しく記入してください。
  - ① 氏 名 欄 漢字氏名を記入してください。
  - ② 科 目 名 欄 「国語」と記入してください。
  - ③ 受 験 番 号 欄 受験票に記載されているメイン受験番号を記入し、その下のマーク欄に、正しくマークしてください。
- 6 受験番号が正しく記入されていない場合は、採点されないことがあります。
- 7 解答は、解答用紙の解答マーク欄にマークしてください。  
例えば 

20
----

 と表示のある問いに対して③と解答する場合は、次の(例)のように20の解答マーク欄の③にマークしてください。  
(例)
 

	解 答 マ ー ク 欄											
20	①	②	●	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⊖	⊕
- 8 問題冊子の余白等は適宜利用してもかまいませんが、どのページも切り離してはいけません。
- 9 不正行為について
  - ① 不正行為に対しては厳正に対処します。
  - ② 不正行為に見えるような行為が見受けられた場合は、監督者が注意します。
  - ③ 不正行為を行った場合は、その時点で受験を取りやめさせ退室させます。

国

語

( 解答番号

1

5

34

)

第1問 次の文章は東日本大震災(二〇一一年)の翌年に発表されたものです。これを読んで、後の問い(問1～問10)に答えなさい。

「想定」は人間が予見する動物であることと深く関係している。人間は過去の経験に基づき「想定」を持ち、経験を通して再確認することによって「想定」に対する信頼感を高めていく。「想定」が「想定」であるためには、はっきりした輪郭と内容を備えたものでなければならない。つまり、無限定なものではないということ、つねに限定付きのものであることである。地震の例で言えば、マグニチュード8.0を「想定」して対策が立てられるのであって、「どんな地震にも耐えられる」対策というのは、厳密な意味ではあり得ないし、要領を得ないものになる。「想定」というのは、英語で言えば「イフ」に該当し、それに応じて「〇〇」という回答が出されることになる。この「イフ」のない問いかけというのは、技術の世界ではおよそ意味を持たない。もし「万全の対策」なるものが「イフ」抜きの文章を意味するとすれば、それは<sup>1</sup>営業上のレトリックでしかない。「イフ」という条件付けなしにすべてを一举に見通す存在があるとすれば、それは神であつて人間ではないというのが思想史の教えるところである。そして、「想定」そのものを持たないで生きるのは[A]的に野獣とされてきたのであつて、「想定」に依存して生きる人間は神と野獣との中間に位置するものとされたのであつた。

「想定」がつねに一定の限定付きのものであることから、いくつかの議論が出てくる。たとえば、「たかが」一定の限定付きのものでしかないならば、そう真面目にそうしたものに基づいてあれこれ対応する必要はないという考えが出てくる。これは事実上、何も学ばず、何の努力もしないことを弁解する口実に使われる。あるいは、シヨセン<sup>a</sup>人間のやることはあまり意味がないといった、諸行無常の[B]的な諦めの心境につながるかもしれない。それにもかかわらず人間が「学ぶ」のは、予見する動物としての人間らしく、「想定」を踏まえた上で可能な限りにおいて不安定な未来に備え、そのために努力することに他ならない。それこそ、可能な限り、自らの運命を自らの力で守り、あるいは、切り開いていくという人間の精神的な態度の現れである。人間の作り出した文化や文明は、自然に対して「想定」に基づいて[C]的な世界を作り出し、それを再生産してきた。その根底にあるのは「学ぶ」という精神的な活動であり、近代文明はまさに「学ぶ」ことを通して人間が樹立した巨大な構造物である。それによって人間は古くからの自然の限界である距離とといったものを急速に<sup>b</sup>コクフクした。<sup>2</sup>その中で生きようとする限り、この巨大な構造物の少なくともある部分についてそれなりに「学ぶ」ことは避けて通れないことになる。そのために巨大な教育施設が作られ、高等教育は依然として膨張を続けて止むことがない。これは古老の話に耳を傾けて変化に無縁な静かに生きる世界とはまったく違った世界である。<sup>3</sup>両者において「学ぶ」ということの意味がまったく違うことは言うまでもない。(1)

東日本大震災は基本的に「想定外」の出来事であつた。しかし関係当事者が口にする「想定外」という言葉にはつねに責任逃れのニュアンスがつきまとい、本当は「想定」すべきであつた事柄を無視し、「想定外」という領域に逃げ込んでいのではないかと疑いが残る。実際、「想定外」という言葉には不可抗力といった免責のニュアンスが含まれている。人間世界では「想定外」の事態に対してさえ、何らかの判断を下さなければならない局面があるのも<sup>c</sup>レイゲンな事実である。(2)

さらには「想定内」での対策さえ十分にできなかったことを、「想定外」という言葉で弁解するのは論外である。当然、このことは今後の検証の中でいろいろ取沙汰されるであろう。議論がある「想定」の範囲に無理に抑え込もうとする態度には、過去にこだわら過ぎるという別の問題がある。言い方を換えれば、これまでの「学び」に呪縛じゆばくされ過ぎ、発想の転換ができないという問題である。「想定」なしに生きられないことと、特定の内容の「想定」しかないと思ひ込むこととの間には雲泥の差がある。この差を埋めるのが「学ぶ」ということである。(3)

ここで大事なことは、「学ぶ」という行いには、「想定」の枠内での積み上げの「学び」だけを意味するわけではなく、その枠を超える「学び」の能力も含まれているということである。つまり、それまでの「想定」やその枠内での「学び」を外から眺め、突き放して観察するという知的な行為がそれである。これは自らがこれまで行ってきたことを乗り越える人間の能力と云ってよいが、これによってマンネリ化しがちな「学び」は「学び続ける」という**D** 的な知的な行為へと転換していく。実際、人間はそれまでの「想定」が決定的に崩壊したり、破壊されたりすると、それまでの価値判断を見直し、あるいは、生き方を変えることによつて新たな選択を行ってきた。それは今度のような大震災に限らず、政治体制の崩壊といった状態においても発生することである。よく知られているように、昭和20年(1945年)とそれに続く数年の混乱はその代表的な例であった。一定の「想定」に執着し、時にはそれにジューンdずることも人間の一つの生き方であるが、それまで「学んできた」ことを相対化し、それを乗り越えて新たに「学ぶ」こと、それによつて生きることともまた人間の選択の中にある。今度の大震災を契機にこれまでの生き方を考え直すといった発言が随所で聞かれるようになったが、それもこうしたことの現れと考えられる。(4)

昔から「人間とは何か」についてさまざまな哲学的な考察が加えられ、さまざまな定義や規定が行われてきた。「人間は理性的な動物である」という見解もあれば、マルクスは「人間は労働する動物である」と考えた。**E** 的にどのような規定に到達するにせよ、人間が「選択する動物」であることがあらかじめ前提に置かれていたことを見逃すことができない。倫理や政治といったものが話題になるのは人間がまさに「選択する動物」だからである。俗な言い方をすれば、説教に意味があるのは聴く側に選択の余地があるからであつて、その余地がなければ、何を言ってもムダeでしかない。この「選択する動物」という人間の側面は、自由主義といった大看板とはレベルの違う、人間の根本的なあり方と云うべきである。(5)

この選択と「学ぶ」というのは一体不可分の関係にあり、新しく「学ぶ」ことを通してそれまでの「想定」から自由になることは、「学ぶ」という行為に内在する人間の現れと云うことができる。「想定外」のことを考えることは、それだけ思考の自由度が高まり、これまでの「想定」の見直しに止まらず、新しい「学び」へのチャレンジの機会になる。それは新しい社会作りへの突破口になるかもしれない。実際、自由な存在としての人間にとって、「学び続ける」ということは欠かせない生存条件である。

大震災後の復興についてさまざまな意見や憶測が寄せられている。その成否はかなりの部分、そこで「想定」される復興のイメージにかかっている。放置しておけば、復興は「復旧」になつてしまい、古い「想定」が再生産されることになりかねない。それをもつて復興と呼ぶのは「学び続ける」人間のあ

り方としてはいささか悲しい成行きであり、多くの亡くなった人々の無念に応える点でも寂しい道行である。さらにこの大震災は、原発事故を通してエネルギーと環境の問題に正面から取り組む必要を突きつけた。こうした大震災はわれわれがこれまで何を「学び」、この大きな犠牲から何を「学ぶ」かが問われる大きな機会であり、大事な機会である。事態を正確に知り、理解し、「想定」を疑い、そして超えるべき機会である。大震災は大いなる悲劇・惨劇であるとともに、高価な犠牲と引き換えに何を「学ぶ」のかが問われる重大な局面でもある。その多大なる犠牲を無にしてはならない。

(佐々木毅『学ぶとはどういうことか』による)

(注) マルクスⅡ一八一八―一八八三年。ドイツの哲学者、経済学者、革命家。

問1 傍線部 a～e のカタカナにあたる漢字と同じ漢字を含むものを、各群の①～⑤のうちからそれぞれ一つずつ選びなさい。

〔解答番号〕

1

5

a ショセン

1

- ① 地方にサセンされる。
- ② 理論をジッセンに移す。
- ③ センメイに記憶する。
- ④ 過去をセンサクする。
- ⑤ 上空をセンカイする。

b コクフク

2

- ① シンコクな事態に陥る。
- ② 不正をコクハツする。
- ③ 裁判でコクビヤクをつける。
- ④ コクメイに記録する。
- ⑤ 筆跡がコクジする。

c レイゲン

3

- ① レイセイにふるまう。
- ② 警報がハツレイされる。
- ③ 早起きをレイコウする。
- ④ レイギ正しい若者。
- ⑤ レイサイ企業で働く。

d ジュンずる

4

- ① 地方をジュンギョウする。
- ② 彼女はジュンスイな人だ。
- ③ 資金はジュンタクである。
- ④ 話の前後がムジュンする。
- ⑤ ジュンシヨク警官を悼む。

e ムダ

5

- ① ダキョウ案を示す。
- ② ダミンをむさぼる。
- ③ 子どもにダチンをやる。
- ④ ダサンがはたらく。
- ⑤ ダラクした生活を送る。

問2 空欄 A、E を補う語として最も適当なものを、次の①～⑥のうちからそれぞれ一つずつ選びなさい。(同じ番号を二度以上選んではいけません。)(解答番号 A 6、B 7、C 8、D 9、E 10)

- ① 最終
- ② 能動
- ③ 限定
- ④ 宗教
- ⑤ 人工
- ⑥ 伝統

問3 傍線部1「営業上のレトリックでしかない」を言い換えた表現として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

(解答番号 11)

- ① 対策としては限定されたものでしかない
- ② 実効性のない宣伝文句にすぎない
- ③ 単なる「想定」としか言えない
- ④ 思想上、神であって人間ではない
- ⑤ 経験に基づいた具体的なものではない

問4 傍線部2「その中」の「その」が指示する語句として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。(解答番号 12)

- ① 「想定」
- ② 自らの運命
- ③ 自然
- ④ 近代文明
- ⑤ 距離

問5 傍線部3「両者において『学ぶ』ということの意味がまったく違う」とありますが、この違いを端的に説明したものととして最も適当なものを、次の

①～⑤のうちから一つ選びなさい。〔解答番号 13〕

- ① 後者は自然と共存する方法について学ぶが、前者は人間の作り出した文化や文明を再生産する方法について学ぶ。
- ② 後者は古老の個人的で貴重な体験について学ぶが、前者は社会全体に関わるような、歴史や政治や経済などを学ぶ。
- ③ 後者は変化とは無縁で静かな世界で生活することを学ぶが、前者は変化してやまない諸行無常の世界で生きることを学ぶ。
- ④ 後者は生きていくのに最低限必要な初歩的な知識を学ぶが、前者は高等教育機関を通じて、高度で最新の知識を学ぶ。
- ⑤ 後者は民族の神話や知恵といった伝統的な知識を学ぶが、前者は文明社会で生きるのに不可欠な、新しい知識を学ぶ。

問6 傍線部4「雲泥の差」とほぼ同じ意味を表すことわざを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。〔解答番号 14〕

- ① 先んずれば人を制す
- ② 他山の石
- ③ 月とスッポン
- ④ 猫に小判
- ⑤ 論より証拠

問7 傍線部5「相対化」を具体的に説明した箇所を、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。〔解答番号 15〕

- ① 波線部①「『想定』の枠内での積み上げ的な『学び』」
- ② 波線部②「『学び』を外から眺め、突き放して観察する」
- ③ 波線部③「マンネリ化しがちな『学び』」
- ④ 波線部④「それまでの『想定』が決定的に崩壊したり、破壊されたりする」
- ⑤ 波線部⑤「一定の『想定』に執着し」

問8 傍線部6「人間が『選択する動物』である」とありますが、筆者が「選択する動物」という点を強調する理由の説明として最も適当なものを、次の

①～⑤のうちから一つ選びなさい。〔解答番号 16〕

- ① 人間が予見する動物として何かを学んだり、また学び直したりすることは、とりもなおさず選択する行為に他ならないから。
- ② 人間は過去の経験に基づいて「想定」を行う動物であるが、この「想定」は選択によって限定されたものでなければならぬから。
- ③ 人間は理性的な動物であるとか、労働する動物であるとか言われるのも、人間が根本的に自由主義を選択する動物であるから。
- ④ 人間は「想定内」のことにも「想定外」のことにも対処しなければならないが、そのいずれであるかの判断は選択によるものだから。
- ⑤ 人間は東日本大震災といった「想定外」の出来事に見舞われても、従来の「想定」を再生産することを選択して復興してきたから。

問9 本文から次の文が抜け落ちています。どこに戻すのが最も適当ですか。後群の①～⑤のうちから一つ選びなさい。〔解答番号 17〕

したがって、「想定外」のことも考えておく必要がある。

- ① ( 1 )
- ② ( 2 )
- ③ ( 3 )
- ④ ( 4 )
- ⑤ ( 5 )

問10 筆者は「学ぶ」と「想定」との関係についてどのように考えていますか。その説明として最も適当なものを、次の①～⑥のうちから一つ選びなさい。〔解答番号 18〕

- ① 「学ぶ」ということは、「想定外」の出来事に対して何の努力もしなかったり、諸行無常の諦めの心情に陥ったりすることなく、その出来事を乗り越えて社会を復旧させるための突破口となる行為である。
- ② 「学ぶ」ということは、一定の限定付きのものである「想定」を踏まえた上で、不安定な未来に備える行為である一方で、このような「想定」から自由になろうとする人間の根本的なあり方でもある。
- ③ 「学ぶ」ということは、東日本大震災のような「想定外」の出来事に対しても、それを「想定内」のこととして真摯まことしに向き合い、高価な犠牲と引き換えに新しい社会作りへの突破口となるような行為である。
- ④ 「学ぶ」ということは、過去の経験に基づき「想定」によって、可能な限り不安定な未来に備える活動であると同時に、その「想定」に拘泥することなく、それを見直し続けるという自由な活動でもある。
- ⑤ 「学ぶ」ということは、「想定」が一定の限定付きのものであることを見直し、それを相対化することによって、将来の「想定外」の出来事にも十全に対処しようとする、人間の自由で知的な活動である。

## 第2問 次の文章を読んで、後の問い(問1～問10)に答えなさい。

AIの頭の良さを論じる際によく例に出されるのは、チューリング・テストです。コンピューター科学の父と言われる数学者、アラン・チューリングが提案しました。人間かAIかどちらが部屋にいるかわからないようにしておき、なんでもいいから質問を投げかけ、その答えが人間的だと質問した人が思ったら、そのAIは「人間相当の知能がある」と判断してもいいのでは、というテストです。

一方で、「中国語の部屋」という問題もあって、例えば、中国語ができなければわからない質問をした場合に、中にいる人あるいはAIがその意味を理解していても、辞書があれば翻訳して答えることができてしまう。しかし、それでは中国語を理解しているとは言えないのではないかという、チューリング・テストに対する反論です。哲学者のジョン・サールが提起しました。

Google翻訳やチャットGPTなどに質問を投げかけると、おどろくほどスムーズな解答が返ってきます。実は、昔の電話交換手や苦情受付のコールセンターのように、インターネットの向こう側に熟練のオペレーターがいて、答えを打ち込んでくれているのかもしれませんが、逆の場合も考えられます。

最近、Amazonで不具合があつて、オペレーターとチャットする機会があつたのですが、ちゃんとオペレーターには名前がついていますし、こちらとしては人間だと思つて対応していますが、本当に人間かどうかは怪しいものです。

「コンピューターには知能があるのか」「人間とどちらが賢いのか」というような議論は昔から繰り返されてきましたが、この本のねらいは、そういうことに決着をつけようというものではなく、(イ) 今のような時代に、人間側に求められる知能とはどういうものかを考えたいということです。「AI時代に求められる知能とはなんだろう」というのが、本書の主題となります。

AIが賢くなるにつれて、いや人間にはもつと賢いのがいると張り合いたくなるのが人間の心情。ここにきて、ギフトドやギフトド教育に注目が集まっているのは、そのような時代背景があるのかもしれませんが。

才能のことを英語ではギフト(天からの授かり物)と言ひ、他の人にはない才能を持っている人は「ギフトド」と呼ばれています。日本語でも古くから「天賦の才」や「神童」という言葉がある通り、子供の頃から大人顔負けの才能を発揮し、世間を賑わせるという事例は珍しくありません。一方で「二〇歳過ぎればただの人」という言葉もある通り、子供時代には周りの子と比べてできることが多くても、成長するにつれてその特別感が減ってしまうことは多々あります。

私も、我が子が幼い頃、次々と新しいことができるようになるのを目の当たりにして、「もしかしてうちの子は天才なのではないか」と思つたこともありました。(ロ) 立ち上がるのが人より早いとか、言葉を発するのが他の子より上手とか。でも聞いてみると、他の家庭でもだいたひ似たような感じでしたし、仮に他の子よりも数カ月何かが早くできたとしても、それは誤差のようなもので、遅かれ早かれみんなできるようになります(それでも、

我が子は何かの天才だと信じていますが……。

多くの親が、我が子に何らかの才能を見出したい、発掘したいと思うものです。しかし、それはなぜなのでしょう。頭がいいことにどんな利点を感じているのでしょうか。

頭の良さという誰もが最初に思いつくのは、知能指数すなわちIQだと思います。今ではおなじみですが、実はIQはもともと頭の良さを表す指標として発明されたものではありませんでした。

一九〇五年、フランスの心理学者アルフレッド・ビネーとテオドール・シモンは、小学校において特別支援が必要な子供たちを特定するための知能テストを開発しました。いろいろなことのできが早い子もいれば遅い子もいます。それはごく当然のことです。彼らが開発したテストは、あくまでその中でも特別な支援を必要とする子を割り出すために作られたものであり、子供の優劣の順番をつけるために作られたわけではありませんでした。

これぐらいの年齢であればこれくらいができるというような、年齢に応じた認知タスクを、年齢に基づく期待される成績との比較、いわゆる精神年齢で子供の知能を評価したに過ぎません。

このようにIQテストの最初の理念は、困っている子供を助けるためでした。ビネーも「自分の開発したこのテストが、人間に優劣をつけるものにならないように願っている」と語っていました。しかしながら、残念なことに彼の死後、その懸念は現実のものとなってしまいました。

一九一六年、アメリカの心理学者ルイス・ターマンは、ビネー・シモンテストを改訂し、スタンフォード・ビネー知能スケールとしてアメリカで普及させました。このテストで知能指数という概念を導入し、IQ＝精神年齢÷生物学的年齢×100の式で計算しました。一九三九年、デビッド・ウェクスラーは、ウェクスラー成人知能検査(WAIS)を開発しました。このテストは、言語能力とパフォーマンス能力(空間認識やパズル解決など)を測定する部分から成り立っており、現在も改訂された形で広く使用されています。

さらに二〇世紀初頭から中頃にかけて、一度に多くの人を評価できるグループIQテストが開発されました。これらのテストは、第一次世界大戦と第二次世界大戦の時期に軍隊で適性評価に使用されたと言います。

(一ハ)、その後多くの研究者は、IQテストが言語や論理的思考を重視しすぎており、創造性や感情知能、対人知能などの他の重要な知能や能力を無視していると指摘しています。(ニ)、IQテストの結果が文化や教育環境に大きく影響されるため、特定の文化圏や環境で育った人々に不公平な評価を与える可能性があるという懸念もあります。

なぜこれほどに、IQスコアが普及したのでしょうか。確かに、よくできた指標であることは疑いのない事実です。学業成績や職業上の成功と比較的高い相関があるとされており、一定の予測性があります。これにより、教育や職業選択の適性を判断する際に参考にされることが多いのです。

<sup>6</sup> IQスコアと生涯年収の関連については、研究で一定の相関が示されています。一般的に、高いIQスコアを持つ人は、学業や職業で成功しやすく、よ

り高い経済的報酬を得る傾向があります。しかし、この関連性は必ずしも直接的で強いものではありません。

生涯年収には、IQだけでなく他の多くの要因が影響を与えています。例えば、家庭環境、教育、社会的ネットワーク、職業選択、労働市場の状況、地域、個人の努力や能力、運など、さまざまな要素が絡み合って生涯年収が決まります。(ホ)、IQと生涯年収の間に明確な因果関係を見出すのは難しいと言えます。

(毛内<sup>もうないひるむ</sup>抜『頭がいい』とはどういうことか——脳科学から考える』による)

問1 傍線部 a・b の漢字の訓読みとして最も適当なものを、各群の①～⑤のうちからそれぞれ一つずつ選びなさい。なお、( ) 内に示したのは送り仮

名です。〔解答番号 a 〓 19、b 〓 20 〕

a 翻 ① なお(る) ② はため(く) ③ くつがえ(る) ④ か(えす) ⑤ ひるがえ(る)

b 練 ① きたえ(る) ② つた(える) ③ ね(る) ④ こね(る) ⑤ ささ(える)

問2 空欄 (イ) ( ) (ホ) を補う語として最も適当なものを、次の①～⑥のうちからそれぞれ一つずつ選びなさい。(同じ番号を二度以上選んで

はいけません。〔解答番号 イ 〓 21、ロ 〓 22、ハ 〓 23、ニ 〓 24、ホ 〓 25 〕

① 例えば ② さらに ③ また ④ したがって ⑤ むしろ ⑥ しかし

問3 傍線部1「チューリング・テストに対する反論」とはどういうことですか。その説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。〔解答番号 26〕

- ① 人間相当の知能を持つAIなら、理解できない異言語を辞書を使って翻訳することができるので、異言語による質問では人間かAIかは識別できないということ
- ② 理解できない異言語による質問に辞書を使って翻訳して答えることは人間にもAIにも可能であり、回答の内容から人間相当の知恵の有無の判定はできないということ
- ③ 理解できない異言語による質問に対しては、AIも辞書を使った翻訳で人間的な回答をすることができるので、質問は理解できる言語ですべきだということ
- ④ 異言語の理解度を測るための質問では、辞書が使えたと人間かAIかの区別が難しくなるので、そうした質問の場合は辞書の使用を禁止するべきだということ
- ⑤ 異言語でAIに質問をすると辞書による翻訳で非常にスムーズな答えが返ってくるが、実際には熟練したオペレーターが答えているかもしれないということ

問4 傍線部i～vの「で」は、品詞の違いによって二つに分類できます。その分類として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。〔解答番号 27〕

- ① (i) — (ii・iii・iv・v)
- ② (i・iv) — (ii・iii・v)
- ③ (i・v) — (ii・iii・iv)
- ④ (i・iv・v) — (ii・iii)
- ⑤ (i・iii・v) — (ii・iv)

問5 傍線部2「大人顔負けの才能」の意味として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。〔解答番号

28

- ① 優位に立つはずの大人が圧倒されてしまう程の才能
- ② 大人びた雰囲気で見つぎがたく思われるような才能
- ③ 大人が顔を伏せざるをえない程の想像を超えた才能
- ④ 格上の大人の顔をつぶしてしまうような超人的才能
- ⑤ 大人が天才だと勘違いしてしまいそうな早熟な才能

問6 傍線部3「遅かれ早かれ」と同じ意味の熟語を、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。〔解答番号

29

- ① 尚早
- ② 遅延
- ③ 拙速
- ④ 漸次
- ⑤ 早晚

問7 傍線部4「優劣」と熟語の構成が異なるものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。〔解答番号

30

- ① 慶弔
- ② 抑揚
- ③ 首尾
- ④ 多寡
- ⑤ 調整

問8 傍線部5「残念なことに」とありますが、筆者はなぜそのように言うのですか。その説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。〔解答番号 31〕

- ① 今では頭の良さを表す指標として広く普及しているIQテストであるが、それが開発された時点では、精神年齢で子供の知能を評価するに過ぎないものであったから。
- ② 困っている子供であるかどうかを見極めるためにビネーとシモンが開発した知能テストが、世界大戦が始まると兵士の適性検査に使用され、平和利用されなかったから。
- ③ ビネーが精神年齢により子供の知能を評価する目的で開発した知能テストが、後に言語や論理的思考を重視しすぎていて他の能力を無視しているという批判を受けたから。
- ④ 自分の開発した知能テストで人間に優劣をつけないでほしいというビネーの願いに反し、後にそのテストを改訂したIQテストが彼の願いに反する使い方で普及したから。
- ⑤ ビネーとシモンが開発した知能テストは特別支援の必要な子供たちの特定を目的としていたのに、現在ではより高い経済的報酬を得られるか否かの指標にされているから。

問9 傍線部6「IQスコアと生涯年収の関連」について、筆者はどのように考えていますか。その説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。〔解答番号 32〕

- ① IQスコアは教育や職業選択の適性の判断には参考になるが、重要な知能や能力を無視しているので、生涯年収との因果関係は考えにくい。
- ② 生涯年収は家庭環境、教育、社会的ネットワーク、職業選択、労働市場の状況などの影響で決まるもので、IQスコアとは関連していない。
- ③ 生涯年収とIQスコアの間には一定の相関が見取れるけれど、生涯年収に影響を与える要因は他にも多くあり、明確な因果関係は見出し難い。
- ④ IQスコアは言語や論理的思考に関する知能を示すものであり、創造性や感情知能、対人知能など生涯年収に関わる能力を示すものではない。
- ⑤ IQスコアの高い人は学業や職業で成功すれば高い経済的報酬を期待でき、本人の努力や能力や運などが重なれば豊かな生涯年収を得られる。

問10

本文の内容に合致するものを、次の①～⑥のうちから二つ選びなさい。(解答の順序は問いません。)

33

34

- ① AIの頭の良さは質問に対して人間的な答えができるか否かで計れるが、人間より賢いか否かは計測しようがない。
- ② 賢明で有能なAIが登場したことは、ギフト教育に注目が集まるようになった一つの時代背景とも考えられる。
- ③ IQテストによって計られる知能指数が人間の頭の良さを示す指標であるという考えには、何の理論的根拠もない。
- ④ ルイス・ターマンの作った児童向けのIQテストを成人向けに改訂したのが、ウエクスラー成人知能検査である。
- ⑤ 文化や教育環境の影響が大きいIQテストは、特定の文化圏や環境で育った人々への偏見につながる恐れがある。
- ⑥ 高いIQスコアを持っているのに高い経済的報酬を得られない人は、IQ以外の様々な要因を考えてみるべきだ。